検査及び証憑類の管理に関する 補足説明資料・基金編

(事務処理説明書 補足説明資料・基金編)

<基金事業 (複数年度契約・交付決定) 様式の記載方法>

令和7年10月

研究開発委託等管理部 研究開発委託等管理課



目 次

			※項目名	をクリックすると	各頁に移動できます。	,
Ι.	はじめに			• •		1
Ι.	記載例					
	1. (委	〔注〕(注	<mark>助)</mark> 共通_収支決算書(基金用)	注意事項	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	3
	1 - 1.	(委託)	収支決算書(基金用)		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	5
	1 - 2.	(補助)	収支決算書(基金用)			1 3
	2 - 1.	(委託)	収支簿	• •	1	L 5
	2 - 2.	(補助)	収支簿		•••••	1 6
	3 – 1.	(委託)	実績報告書		•••••	1 7
	3 - 2.	(補助)	実績報告書		1	L 8



I. はじめに

本書は、事務処理説明書及び検査及び証憑類の管理に関する補足説明資料(事務処理説明書補足資料)で記載がない基金事業向けの「収支決算書(基金用)」を検査で提出される場合に備えて、記載例等を通してわかりやすく説明する事を目的として作成しています。

尚、本書に掲載した様式を使用していない下記事業については、説明の対象外となりますので、その記載方法について個別に担当事業課へ確認してください。

- •創薬事業部 医薬品研究開発課
- ・感染症研究開発事業部感染症研究開発課(ワクチン開発推進事業)

また、「収支簿」については基金事業特有の記載例のみを記載していますので、それ以外については、検査及び証憑類の管理に関する補足説明資料(事務処理説明書補足資料)を参照してください。また、事務処理説明書/事務処理説明書(追補版)の記載事項を全て網羅するものではありませんので、詳細は委託研究開発契約書、事務処理説明書、及び各基金事業の事務処理説明書(追補版)を確認してください。

また、課題によっては公募要領等で個別のルールが設定されることがありますので、その場合は事務処理説明書・本書の説明に拘わらずその指示に従ってください。

本書に掲載する「収支決算書(基金用)」様式は事業課より研究機関へ配布することとなっていますので、必要時は事業課へ問い合わせください。

「収支簿」様式は、当機構のホームページ内「事務手続」の「事務処理説明書・様式集」に 掲示している共通版を使用しますので確認してください。

各種様式は随時変更されることがありますので、最新のものを使用してください。

【事務処理説明書·様式集】

https://www.amed.go.jp/keiri/youshiki.html

ご不明な点は、研究開発委託等管理部研究開発委託等管理課宛に メールで質問してください。

(宛先) keiyaku_choseiATamed.go.jp

(件名) 【機関名○○○○】 タイトル(タイトルは問い合わせの概要)

(本文) 【課題管理番号(16 桁)】【研究開発課題名】を記載してください。

※ (宛先) の"AT"を"@"に置き換えて利用してください。



<参考>本書の対象基金事業

·先進的研究開発事業部 戦略推進課(SCARDA)

(ワクチン・新規モダリティ研究開発事業、ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業)

・シーズ開発基礎研究事業部 挑戦的研究開発課

(ムーンショット型研究開発事業)

•国際戦略推進部 国際事業課

(先端国際共同研究推進プログラム(ASPIRE))

・創薬エコシステム推進事業部 創薬エコシステム推進事業課

(創薬ベンチャーエコシステム強化事業、革新的医療技術研究開発推進事業(AIMGAIN))

・橋渡し・臨床加速事業部 医学研究推進事業課 (橋渡し研究プログラム(大学発医療系スタートアップ支援プログラム))



Ⅱ. 記載例

1. <mark>(委託)(補助)</mark>共通 収支決算書(基金用) 注意事項

単年度・収支決算書との様式の違いについて

- 複数年度の対応のため、
 - 全研究開発期間を通算した「合計」と事業年度毎の「〇〇年度」(複数)から構成されています。
- 単年度・収支決算書の「その他(収入)」欄がないので、 納入遅延金や印税収入等が発生した場合は、「○○年度」の「うち返還額」欄に金額を入力して、 「合計」の(委託)「備考」欄/(補助)欄外に内容(収入名、年度、金額)を記載してください。

繰越対応(執行残額)について

- 基金の特性を活用した研究費の柔軟な執行を可能とするため、 当該事業年度の計画額に対して、研究費(直接経費・間接経費)の執行残額が発生する場合でも 繰越申請等の手続きは不要で、研究機関に存置したまま翌事業年度への繰越が可能です。
- AMED へ返還せずに研究機関に存置したまま繰越した当該年度の執行残額は 年度末報告書、及び年度末検査で使用する「収支決算書(基金用)」にて AMED へ報告してください。
- 執行残額を繰越した翌年度は、研究開発計画での年度計画額と執行残額(前年度)を合計した執行可能額として、「収支決算書(基金用)」に記載され、執行可能額 支出額で翌年度の差引額(うち執行残額)が計算されます。

上記繰越手続き不要については、それぞれの事業毎に共通版と異なる事業固有ルールとして事務処理説明書(追補版)で規定されていますので、その他の内容とあわせて確認してください。

前倒し執行の申請手続きについて

● 年度計画額と執行残額(前年度)を合計した執行可能額総額(直接経費+間接経費)を上回って前倒しで 執行する場合は、変更承認申請手続きが必要です。

費目間流用制限額について

● 費目間流用制限の上限額・下限額は、執行残額(前年度)を含めた執行可能額を基準として、年度計画額 (直接経費合計)の50%(この額が500万円に満たない場合は500万円)を加算/減算した金額とします。 流用制限の上限額・下限額の幅を決める流用制限額は、「執行可能額(直接経費合計)の50%」ではなく、 「年度計画額(直接経費合計)の50%」です。

上記流用制限の上限額を超える場合は変更承認申請手続きをしてください。

尚、下限額を下回る場合は、執行残額の繰越手続きを不要との事務処理説明書(追補版)の規定がある場合は手続きを不要とします。

1. <mark>(委託)(補助)</mark>共通_収支決算書(基金用) 注意事項 <mark>(続き)</mark>

間接経費について

● 間接経費の計上は、該当年度の直接経費合計×契約時の間接経費率が基本となりますが、 事務処理説明書(追補版)でより柔軟な執行を規定している事業もありますので、詳細については 担当事業課へ確認してください。

事務処理説明書(共通版)で返還が必要と規定されている間接経費のみの執行残の扱い(翌年度へ繰越できるか、または返還となるか)については担当事業課へ確認してください。

(委託) 計画額と課題管理番号の入力について

● 委託契約の研究開発期間の全ての年度の「計画額」「課題管理番号」を再委託先も含めて記載して、 収支決算書先頭行の合計欄総額(A+B)の契約額が委託契約書の最新版(年度末検査では 当該年度の年度末時点)と一致していることを確認してください。

(補助) 補助対象経費と課題管理番号の入力について

● 補助金交付決定通知書/交付申請書の研究開発期間の全ての年度の「課題管理番号」と「補助対象経費」を委託費も含めて記載して、収支決算書先頭行の合計欄総額の交付決定額が交付決定通知書の 最新版(年度末検査では当該年度の年度末時点)と一致していることを確認してください。

(補助) 補助率について

補助率が1/1以外の"2/3" または"1/2" の場合は、 収支決算書の左上の「補助率(分子/分母)」欄を変更してください。

- 4 -

合計_総計/直接契約分/再委託費合計

	記入	例		収	支 決 算	書(基金用)			
	告様式1別 管理番号								入力箇所
(初	百姓香兮]年度)	22zz000000h0001	課題ID (e-Rad)	THE	12345678				
			AMEDが付与した課題曾	四番号 e-Rad	<mark>において付与された課</mark>	題 I D			
						合 計			
	(総	額)	契約額	支出額	自己充当額	差引額 (返還額)		備	考
額	(A+B)		38, 635, 320	11, 879, 864	4, 700	26, 760, 156			
	物品費		2, 944, 473	1, 395, 807	1,000	1, 549, 666			
主	旅費		3, 240, 000	132, 536	700	3, 108, 164			
圣貴	人件費・	謝金	25, 320, 000	7, 073, 013	0	18, 246, 987			
A	その他		3, 444, 000	2, 150, 530	3, 000	1, 296, 470			
Ī		直接経費合計	34, 948, 473	10, 751, 886	4, 700	24, 201, 287			
月接着	経費 (B)		3, 686, 847	1, 127, 978	0	2, 558, 869			
	李初	(研究開発代表機関))	研究者番号	12345678	研究機関番号	1234567890	機関名		000000
			1017th to 10	12040010	WINDERSON OF	合 計	18894		
		00000	契約額	支出額	自己充当額	差引額 (返還額)		備	考
沒額	(A+B)		37, 387, 320	11, 524, 574	Q	25, 862, 746			
直	物品費		2, 704, 473	1, 320, 807	0	1, 383, 666			
接経	旅費		3, 000, 000	71, 536	0	2, 928, 464			
費(人件費・	謝金	25, 080, 000	7, 019, 013	0	18, 060, 987	- Dadie da la est	4 = + 4 +	- Padrabinar H E + b +
	その他		3, 204, 000	2, 065, 530	0	1, 138, 470	e-Radにおいて 研究開発代表者	オラされた の研究者番号	e-Radicおいて付与された 代表機関の研究機関番号
		直接経費合計	33, 988, 473	10, 476, 886	0	23, 511, 587			
月接	経費 (B)		3, 398, 847	1, 047, 688	0	2, 351, 159			
						合 計			
	(再	委託費合計)	契約額	支出額	自己充当額	差引額 (返還額)		備	考 考
含額	(A+B)		1, 248, 000	355, 290	4, 700	897, 410			
	物品費		240,000	75, 000	1,000	166,000			
直接径	旅費		240,000	61,000	700	179,700			
費	人件費・	謝金	240,000	54, 000	0	186,000			
Ā	その他		240,000	85, 000	3,000	158,000			
				075 000	4, 700	689,700			
		直接経費合計	960, 000	275, 000	4, 700	009, 100			

目次へ

合計_再委託費詳細(再委託 1~再委託 3) [再委託 4 以降省略]

	(再委託1)	研究者番号	87654321	研究機関番号	0987654321	機関名		
	ΔΔΔΔΔ				合 計		ı	
		契約額	支出額	自己充当額	差引額 (返還額)		備	考 ————————————————————————————————————
総額	i (A+B)	156, 000	52, 000	o o	104, 000			
古	物品費	30, 000	12, 000	0	18,000			
直接経	旅費	30,000	13, 000	0	17, 000			
費	人件費・謝金	30,000	0	0	30, 000	e-Radにおいて 研究開発分担	ご付与された 者の研究者番号	e-Radicおいて付与された 一分担機関の研究機関番号
A	その他	30,000	15, 000	0	15, 000	₩126101136331 <u>E</u> 1	HOLDING HOLDING	77 3 1 100 174 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17
	直接経費合計	120,000	40,000	0	80,000			
間接	経費 (B)	36,000	12, 000	0	24, 000			
	(再委託2)	研究者番号	87654322	研究機関番号	0987654322 合 計	機関名		
	$\triangle\triangle\triangle\triangle\triangle$	契約額	支出額	自己充当額	差引額(返還額)		備	考
総額	i (A+B)	156, 000	55, 000	3,000	104, 000			
	物品費	30,000	9, 000	0	21, 000			
直接経	旅費	30,000	8, 000	0	22, 000			
経 費	人件費・謝金	30,000	6, 000	0	24, 000			
$\widehat{\underline{A}}$	その他	30,000	20, 000	3, 000	13, 000			
	直接経費合計	120,000	43, 000	3,000	80,000			
間接	経費 (B)	36, 000	12, 000	0	24, 000			
	(再委託3)	研究者番号	87654323	研究機関番号	0987654323 合 計	機関名		
	$\triangle\triangle\triangle\triangle \blacktriangle \blacktriangle$	契約額	支出額	自己充当額	差引額(返還額)		備	考
総額	į (A+B)	156, 000	45, 500	0	110, 500			
	物品費	30,000	10, 000	0	20, 000			
直接	旅費	30,000	5, 000	0	25, 000			
経費	人件費・謝金	30,000	10, 000	0	20, 000			
$\widehat{\underline{A}}$	その他	30,000	10, 000	0	20, 000			
	直接経費合計	120,000	35, 000	0	85, 000			
間接	経費 (B)	36,000	10, 500	0	25, 500			

目次へ

○○年度(例.令和4年度)_総計/直接契約分/再委託費合計

	記入例	71]			プルダウン選択	 肢は下記3つから選				•
	□様式1別約 管理番号	No.	AMEDが付与した課	題管理番号			~ 非計上(免税事業者	等)		
(初	刃年度)	22zz000000h0001						(以下、不課稅消費稅	組当額等)について、	
					「直接経費」の	「その他」に計上するだ	か否かの意思表示をプル	レダウンから選択してく	ださい。	
To	开究 開発期	間の全ての年度の 「計		ての年度の「課題管	※支出額に不	課税消費税相当額等力	が存在しない場合でも過	と訳をお願い致します。		
	■額」を配 (再委託先	載してください。 も含む)	理番号」を配載し	てください。(再委	※免税事業者	等に該当する場合は	「非計上(免税事業者等)	」を選択してください。		
					•	<u></u>	4年度			
	(総	額)	計画額	執行残額(前年度分)	執行可能額	支出額	自己充当額		差引額 うち返還額	うち執行残額
総額	(A+B)		12, 878, 440	0	12, 878, 440	11, 879, 864	4, 700	1, 003, 276	7 ら返還領 2,000	1,001,276
	物品費		981, 491	0	981, 491	1, 395, 807	1,000	▲ 413, 316	0	▲ 413, 316
	旅費		1, 080, 000	0	1, 080, 000	132, 536	700	948, 164	0	948, 164
経費	人件費・詢	対金	8, 440, 000	0	8, 440, 000	7, 073, 013	0	1, 366, 987	0	1, 366, 987
A	その他		148, 000	0	1, 148, 000	2, 150, 530	3,000	▲ 999, 530	0	▲ 999, 530
		直接経費合計	11, 649, 491	0	11, 649, 491	10, 751, 886	4,700	902, 305	0	902, 305
間接網	圣費 (B)		1, 228, 949	0	1, 228, 949	1, 127, 978	0	100, 971	2,000	98, 971
(直	[接契約分	(研究開発代表機関))	間接経費率	10%	←契約時の率を%で	記載してください。	不課税消費税材	目当額等の取扱	計上	
		00000			令和4年度			(課題管理番号→))h0001
		,00000	計画額	執行残額(前年度分)	執行可能額	支出額	自己充当額		うち返還額	うち執行残額
総額	(A+B)		12, 462, 440	0	12, 462, 440	11, 524, 574	0	937, 866	0	937, 866
直	物品費		901, 491	0	901, 491	1, 320, 807	0	▲ 419, 316	0	▲ 419, 316
接経	旅費		1, 000, 000	0	1, 000, 000	71, 536	0	928, 464	0	928, 464
費	人件費・詢	村金	8, 360, 000	0	8, 360, 000	7, 019, 013	0	1, 340, 987	0	1, 340, 987
<u>A</u>	その他		1, 068, 000	0	1, 068, 000	2, 065, 530	0	▲ 997, 530	0	▲ 997, 530
		直接経費合計	11, 329, 491	0	11, 329, 491	10, 476, 886	0	852, 605	0	852, 605
間接網	圣費 (B)		1, 132, 949	0	1, 132, 949	1, 047, 688	0	85, 261	0	85, 261
				間接経費は、直接経費1 直接、実績額を直接入	合計×間接経費率が基本 カすることも可能です	ですが、	直接経費・間接紹	と費とも一部執行 列	(翌年度へ繰越)あ	ย
	(尹	写委託費合計)	計画額	執行残額(前年度分)	執行可能額	令和4 支出額	4年度 自己充当額		差引額	
総額	(A+B)		416, 000	0	416, 000	355, 290	4,700	65, 410	うち返還額 2,000	うち執行残額 63,410
	物品費		80, 000	0	80,000	75, 000	1,000	6, 000	0	6, 000
直 接	旅費		80, 000	0	80, 000	61,000	700	19, 700	0	19, 700
経費	人件費・詢		80, 000	0	80, 000	54, 000	0	26, 000	0	26, 000
A	その他		80, 000	0	80, 000	85, 000	3, 000	▲ 2,000	0	A 2,000
F		直接経費合計	320, 000	0	320, 000	275, 000	4,700	49, 700	0	49, 700

目次へ【◀◀

○○年度(例.令和4年度)_再委託費詳細(再委託1~再委託3)

	(再委託1)	間接経費率	30%	←契約時の率を%で	記載してください。	不課税消費税	目当額等の取扱	非計上(自己)	
	ΔΔΔΔΔ	計画額	執行残額(前年度分)	令和4年度 執行可能額	支出額	自己充当額	(課題管理番号→)		000101
6/\\ dags	(A B)	52,000		52, 000		日乙儿当報	0	うち返還額 0	うち執行残額
市心省貝	額 (A+B) 物品費 物品費 旅費 人件費・謝金 その他 直接経費合計 接経費 (B) (再委託 2)	·	0		52, 000	0	0		0
直		10, 000	0	10, 000	12, 000	0	▲ 2,000	0	▲ 2,000
接経	旅費	10, 000	0	10, 000	13, 000	0	▲ 3,000	0	▲ 3,000
費	人件費・謝金	10, 000	0	10,000	0	0	10,000	0	10,000
A	その他	10,000	0	10,000	15, 000	0	▲ 5,000	0	▲ 5,000
	直接経費合計	40,000	0	40, 000	40, 000	0	0	0	0
間接	経費 (B)	12,000	0	12,000	12, 000	0	0	0	0
						執行残(翌年度	へ繰越)自己充	当共になし	
	(再委託2)	間接経費率	30%	←契約時の率を%で 令和4年度	記載してください。	不課税消費税材	目当額等の取扱(課題管理番号→)	非計上(免税: 22zz00000	
	$\triangle\triangle\triangle\triangle\triangle$	計画額	執行残額(前年度分)	執行可能額	支出額	自己充当額	(誅題官理番方→)	差引額	
総額	(A+B)	52,000	0	52,000	55, 000	3,000	0	うち返還額 0	うち執行残額 0
		10, 000	0	10,000	9, 000	0	1,000	0	1,000
直接		10,000	0	10,000	8, 000	0	2,000	0	2, 000
経			0			0			
費(人件費・謝金	10, 000	0	10,000	6, 000	0	4,000	0	4, 000
A	その他	10, 000	0	10, 000	20, 000	3, 000	▲ 7,000	0	▲ 7,000
	直接経費合計	40,000	0	40, 000	43, 000	3, 000	0	0	0
間接	経費 (B)	12,000	0	12,000	12, 000	0	0	0	0
						自己充当あり			
	(再委託3)	間接経費率	30%	←契約時の率を%で	記載してください。	不課税消費税材	目当額等の取扱	計上 22zz00000	
	$\triangle\triangle\triangle\triangle \blacktriangle \blacktriangle$	計画額	執行残額(前年度分)	令和4年度 執行可能額	支出額	自己充当額	(課題管理番号→)	差引額	
6/\\ dags	(A+B)	52,000		52, 000		日乙儿当報	C 500	うち <u>返還額</u> 0	うち執行残額
形心有具			0	•	45, 500	0	6, 500		6, 500
直	物品費	10,000	0	10, 000	10, 000	0	0	0	0
接経	旅費	10, 000	0	10, 000	5, 000	0	5, 000	0	5, 000
費	人件費・謝金	10,000	0	10,000	10, 000	0	0	0	0
A	その他	10, 000	0	10, 000	10, 000	0	0	0	0
	直接経費合計	40,000	0	40,000	35, 000	0	5,000	0	5, 000
間接	経費 (B)	12,000	0	12, 000	10, 500	0	1, 500	0	1, 500
						直接経費・間接	経費とも一部執行	う残(翌年度へ繰	越)あり

目次△【◀◀

○○年度(例.令和4年度)_再委託費詳細(再委託4~再委託6)

	(再委託4)	間接経費率	30%	←契約時の率を%で	記載してください。	不課税消費税材		計上	
	$\triangle \triangle \triangle \blacktriangle \blacktriangle$			令和4年度			(課題管理番号→)	22zz000000 差引額	s0401
		計画額	執行残額(前年度分)	執行可能額	支出額	自己充当額		左51領 うち返還額	うち執行残額
総額	(A+B)	52,000	0	52,000	0	0	52, 000	0	52,000
-	物品費	10, 000	0	10,000	0	0	10,000	0	10, 000
直接級	旅費	10, 000	0	10,000	0	0	10,000	0	10, 000
経費	人件費・謝金	10, 000	0	10,000	0	0	10,000	0	10, 000
A	その他	10, 000	0	10,000	0	0	10,000	0	10, 000
	直接経費合計	40,000	0	40,000	0	0	40,000	0	40, 000
間接	- 経費 (B)	12,000	0	12,000	0	0	12,000	0	12, 000
						全額執行残(翌年	度へ繰越)あり		
	(再委託5)	間接経費率	30%	←契約時の率を%で	記載してください。	不課税消費税材	目当額等の取扱	計上	
				令和4年度			(課題管理番号→)	22zz000000	s0501
	$\triangle \triangle \blacktriangle \blacktriangle \blacktriangle$	計画額	執行残額(前年度分)	執行可能額	支出額	自己充当額		差引額 うち返還額	うち執行残額
総額	i (A+B)	52, 000	0	52,000	48, 000	0	4,000	0	4, 000
	物品費	10, 000	0	10,000	10, 000	0	0	0	0
直接経	旅費	10,000	0	10,000	6,000	0	4,000	0	4,000
社	人件費・謝金	10,000	0	10,000	10,000	0	0	0	0
A	その他	10, 000	0	10,000	10, 000	0	0	0	0
	直接経費合計	40,000	0	40,000	36, 000	0	4,000	0	4, 000
間接	経費 (B)	12,000	0	12,000	12,000	0	0	0	0
			間接経費は、直接 直接、実績額を直接	経費合計×間接経費率が 要入力することも可能です	基本ですが、	直接経費のみ一	部執行残(翌年度·	へ繰越)あり	
	(再委託6)	間接経費率	30%	←契約時の率を%で	記載してください。	不課税消費税材	目当額等の取扱	計上	
				令和4年度			(課題管理番号→)	22zz000000	s0601
	$\triangle \blacktriangle \blacktriangle \blacktriangle \blacktriangle$	計画額	執行残額(前年度分)	執行可能額	支出額	自己充当額		差引額 うち返還額	うち執行残額
総額	(A+B)	52,000	0	52,000	50, 490	700	2, 210	0	2, 210
	物品費	10, 000	0	10, 000	10, 000	0	0	0	0
直接紹	旅費	10, 000	0	10,000	9, 000	700	1,700	0	1, 700
経費	人件費・謝金	10,000	0	10,000	10, 000	0	0	0	0
A	その他	10, 000	0	10,000	10, 000	0	0	0	0
	直接経費合計	40, 000	0	40,000	39, 000	700	1,700	0	1, 700
間接	経費 (B)	12,000	0	12,000	11, 490	0	510	0	510
_						直接経費・間接経費	とも一部執行残(翌	年度へ繰越)・自己充当	あり

○○年度(例.令和4年度)_再委託費詳細(再委託7~再委託8)

- 10 -

	(再委託7)	間接経費率	30%	←契約時の率を%で	記載してください。	不課税消費税村		計上	
				令和4年度			(課題管理番号→)	<u>22zz000000s070</u> 差引額)1
	****	計画額	執行残額(前年度分)	執行可能額	支出額	自己充当額			ち執行残額
総額	(A+B)	52, 000	0	52, 000	51,000	1, 000	2,000	2,000	0
	物品費	10, 000	0	10, 000	12, 000	1, 000	▲ 1,000	0	▲ 1,000
直接紹	旅費	10, 000	0	10, 000	10,000	0	0	0	0
経費	人件費・謝金	10,000	0	10, 000	9,000	0	1,000	0	1,000
A	その他	10,000	0	10,000	10,000	0	0	0	0
	直接経費合計	40,000	0	40, 000	41,000	1,000	0	0	0
間接	経費 (B)	12,000	0	12, 000	10,000	0	2,000	2,000	0
				を費合計×間接経費率が 入力することも可能です		間接経費のみ執行	行残の返還(繰越	不可の場合)・自己充当	あり
	(再委託8)	間接経費率	30%	—契約時の率を%で	記載してください。	不課税消費税材	目当額等の取扱	計上	
				令和4年度			(課題管理番号→)	22zz000000s080)1
	00000	計画額	執行残額(前年度分)	執行可能額	支出額	自己充当額		差引額 うち返還額 う	ち執行残額
総額	(A+B)	52, 000	0	52, 000	53, 300	0	▲ 1,300	0	▲ 1,300
	物品費	10, 000	0	10, 000	12, 000	9	本例においては、	、間接経費の額の積算方) ですが、上限(年度別	法
	旅費	10, 000	0	10, 000	10,000	0	計画額における	〒	0
経費	人件費・謝金	10,000	0	10, 000	9,000	0	ラー表示されてし	います。この場合、直接	
A	その他	10,000	0	10,000	10,000	0	直接経費合計とし		0
	直接経費合計	40,000	0	40,000	41,000	0	※ 文出観におけ の間接経費率	[・] る直接経費合計×契約問	▲ 1,000
間接		12,000	0	12, 000	12, 300	0	▲ 300	0	▲ 300

○○+1 年度(例.令和 5 年度)_総計/直接契約分/再委託費合計 [再委託 1 以降省略]

- 11 -

	記入	例								
課題	様式1別 管理番号	No. of the contract of the con	AMEDが付与した課	題管理番号						
(:	7年度)	22zz000000h0001								
		額」を1	発期間の全ての年度の 記載してください。 任先も含む)	計画			<mark>番号」を記</mark> (再委託先	間の全ての年度の「課題管理 載してください。 も合む)		
	(総	額)	計画額	執待残額(前年度分)	執行可能額		5年度 自己充当額		差引額	
総額	(A+B)		12, 878, 440	1, 003, 276	13, 881, 716	0	0	13, 881, 716	うち返還額 0	うち執行残額 13,881,716
	物品費		981, 491	▲ 413, 316	568, 175	0	0	568, 175	0	568, 175
直 接	旅費		1, 080, 000	948, 164	2, 028, 164	0	0	2, 028, 164	0	2, 028, 164
接経費	人件費・	謝金	8, 440, 000	1, 366, 987	9, 806, 987	0	0	9, 806, 987	0	9, 806, 987
Â	その他		1, 148, 000	▲ 999, 530	148, 470	0	0	148, 470	0	148, 470
		直接経費合計	11, 649, 491	902, 305	12, 551, 796	0	0	12, 551, 796	0	12, 551, 796
間接	圣費 (B)		1, 228, 949	100, 971	1, 329, 920	0	0	1, 329, 920	0	1, 329, 920
(1	「控製幼く	(研究開発代表機関))	←プルダウンから選択し ⁻	くだない						
, , ,			- 7/2/ / V / N - 5/2/ C		令和5年度			(課題管理番号→)	23zz000000	h0002
		000000	計画額	執行残額 (前年度分)	執行可能額	支出額	自己充当額		差引額 うち返還額	うち執行残額
総額	(A+B)		12, 462, 440	937, 866	13, 400, 306	0	0	13, 400, 306	0	13, 400, 306
直	物品費		901, 491	▲ 419, 316	482, 175		0	482, 175	0	482, 175
接経	旅費		1, 000, 000	928, 464	1, 928, 464		0	1, 928, 464	0	1, 928, 464
費	人件費・	謝金	8, 360, 000	1, 340, 987	9, 700, 987		0	9, 700, 987	0	9, 700, 987
A	その他		1, 068, 000	▲ 997, 530	70, 470		0	70, 470	0	70, 470
		直接経費合計	11, 329, 491	852, 605	12, 182, 096	0	0	12, 182, 096	0	12, 182, 096
間接	圣費 (B)		1, 132, 949	85, 261	1, 218, 210	0	0	1, 218, 210	0	1, 218, 210
						令和:	5年度			
	(再委託費合計)	計画額	執行残額 (前年度分)	執行可能額	支出額	自己充当額		差引額 うち返還額	うち執行残額
総額	(A+B)		416, 000	65, 410	481, 410	0	0	481, 410	0	481, 410
nyther	物品費		80,000	6, 000	86, 000	0	0	86, 000	0	86, 000
直接経	旅費		80,000	19, 700	99, 700	0	0	99, 700	0	99, 700
費	人件費・	謝金	80,000	26, 000	106, 000	0	0	106, 000	0	106, 000
A	その他		80, 000	▲ 2,000	78, 000	0	0	78, 000	0	78, 000
		直接経費合計	320, 000	49, 700	369, 700	0	0	369, 700	0	369, 700
間接	圣費 (B)		96, 000	15, 710	111, 710	0	0	111, 710	0	111, 710

○○+2 年度(例.令和 6 年度)_総計/直接契約分/再委託費合計 [再委託 1 以降省略]

- 12 -

	記入	例								
	告様式1別 管理番号	No.	MEDが付与した課	題管理番号						
(初年度)	22zz000000h0001								
		額」を配り	期間の全ての年度の 「 載してください。 先も含む)	H-IIII				間の全ての年度の「課題 記載してください。(再)		
	(総	額)	ob I	del character (defender ())	del deservo		6年度		差引額	
			計画額	執行残額(前年度分)	執行可能額	支出額	自己充当額		うち返還額	うち執行残額
総額	(A+B)		12, 878, 440	13, 881, 716	26, 760, 156	0	0	26, 760, 156	0	26, 760, 156
直	物品費		981, 491	568, 175	1, 549, 666	0	0	1, 549, 666	0	1, 549, 666
接経	旅費		1, 080, 000	2, 028, 164	3, 108, 164	0	0	3, 108, 164	0	3, 108, 164
費	人件費・	謝金	8, 440, 000	9, 806, 987	18, 246, 987	0	0	18, 246, 987	0	18, 246, 987
$\stackrel{A}{\smile}$	その他		1, 148, 000	148, 470	1, 296, 470	0	0	1, 296, 470	0	1, 296, 470
		直接経費合計	11, 649, 491	12, 551, 796	24, 201, 287	0	0	24, 201, 287	0	24, 201, 287
間接	経費 (B)		1, 228, 949	1, 329, 920	2, 558, 869	0	0	2, 558, 869	0	2, 558, 869
(ī	直接契約分	分(研究開発代表機関))								
		000000			令和6年度			(課題管理番号→)	24zz00000 差引額	0h0003
		000000	計画額	執行残額(前年度分)	執行可能額	支出額	自己充当額		左列機 うち返還額	うち執行残額
総額	(A+B)		12, 462, 440	13, 400, 306	25, 862, 746	0	0	25, 862, 746	0	25, 862, 746
直	物品費		901, 491	482, 175	1, 383, 666		0	1, 383, 666	0	1, 383, 666
接経	旅費		1, 000, 000	1, 928, 464	2, 928, 464		0	2, 928, 464	0	2, 928, 464
費	人件費・	謝金	8, 360, 000	9, 700, 987	18, 060, 987		0	18, 060, 987	0	18, 060, 987
A	その他		1, 068, 000	70, 470	1, 138, 470		0	1, 138, 470	0	1, 138, 470
		直接経費合計	11, 329, 491	12, 182, 096	23, 511, 587	0	0	23, 511, 587	0	23, 511, 587
間接	経費 (B)		1, 132, 949	1, 218, 210	2, 351, 159	0	0	2, 351, 159	0	2, 351, 159
						会和	6年度			
	((再委託費合計)	計画額	執行残額(前年度分)	執行可能額	支出額	自己充当額		差引額 うち返還額	うち執行残額
総額	(A+B)		416, 000	481, 410	897, 410	0	0	897, 410	0	897, 410
	物品費		80, 000	86, 000	166, 000	0	0	166, 000	0	166, 000
直接	旅費		80, 000	99, 700	179, 700	0	0	179, 700	0	179, 700
接経費	人件費・	謝金	80,000	106, 000	186, 000	0	0	186, 000	0	186, 000
Ã	その他	·	80,000	78, 000	158, 000	0	0	158, 000	0	158, 000
_		直接経費合計	320, 000	369, 700	689, 700	0	0	689, 700	0	689, 700
間挟	 経費 (B)	IN THE PARTY OF THE	96, 000	111, 710	207, 710	0	0	207, 710	0	207, 710
1月1女	在(D)		90,000	111, 710	201, 110	0	0	201, 110		201, 110



合計/〇〇年度(例.令和5年度)/〇〇+1年度(例.令和6年度)/〇〇+2年度(例.令和7年度)

- 13 -

				収 支	決算	書(基金月	1)				
								: AMEDが付与した <mark>ネ</mark>	『年度の課題管理番		入力箇所
果題管理番号 (AMED)	23xx8888888j00	001				号を入力					
果題ID (e-Rad) 幾関名	12345678					·課題ID(e-	Rad) : e-F	Radにて付与された課題	夏IDを入力		
機関名 研究機関番号(e-Rad)	1234567890					<u>・機関名)</u> :	貴機関名を入	b			
研究者番号 (e-Rad)	87654321						e-Rad)				
補助率(分子/分母)	1 / 1							研究機関番号を入力			
間接経費率(%)	30%					·研究者番号		(I) = = = = = = = = = = = = = = = = = = =	+ > .		
	ببربب بباب							代表者の研究者番号 ´分母」の形式で記入	を人力		
·補助対象経費								場合は変更してください	Λ-		
- 年度別の補助対象経費									からの変更は不要です。		
補助率がある場合は補助	対象経費額に率を	乗じたものが交付決定	額です。			·間接経費率					
〔交付決定額=補助対象			. 200 815	対象実績		<u></u>					
・交付決定に変更があった	場合は、変更後の	甫助対象経費額を記し	V C (/c	実際に使用した経費	Φ.		 象実績×補助 率		開発期間の全ての年』	ケの「健康管理業長	
さい。				目毎に入力してくださ			象経費実績に補助	切率を乗し を記	載してください。	20 · FREE 42 7	-
(直接経費/間接経費)						た額が自	動計算されます。				(単位:円)
				1		合	計				(本本:日)
		Att the Att of the	Att DL AL & VV VIII (** **	nter le interessor	執行残額			m === ================================		差引額	
		補助対象経費	補助対象経費実績	交付決定額	(前年度分)	執行可能額	補助対象を績×補			うち返還額	うち執行残額
総額		37, 200, 000	6, 200, 000	37, 200, 000			6, 200,		0 31,000,000	31, 000, 000	\
物品費		3, 000, 000	490, 000	3, 000, 000			490,		0 2,510,000	2, 510, 000	\/
接上供费业公		3, 000, 000 12, 000, 000	505, 000 2, 000, 000	3, 000, 000 12, 000, 000			505, 2,000,		0 2, 495, 000 0 10, 000, 000	2, 495, 000 10, 000, 000	
経費その他		6, 000, 000	1, 005, 000	6, 000, 000			1, 005,		0 4, 995, 000	4, 995, 000	/ \
合計		24, 000, 000	4, 000, 000	24, 000, 000			4, 000,		0 20,000,000	20, 000, 000	
間接経費		7, 200, 000	1, 200, 000	7, 200, 000			1, 200,	000	0 6,000,000	6, 000, 000	/
委託費		6, 000, 000	1,000,000	6, 000, 000			1, 000,	000	0 5,000,000	5, 000, 000	
					令和5年度				(課題管理番号)	23xx8888	388j0001
		補助対象経費	補助対象実績	計画額	執行残額 (前年度分)	執行可能額	補助対象実績×補	助率 自己充当額		差引額 うち返還額	うち執行残額
総額		6, 200, 000	6, 200, 000	6, 200, 000	0	6, 200, 000	6, 200,	000	0 0	0	J 54117XIX
物品費		500, 000	490, 000	500, 000	0	500, 000	490,	000	0 10,000	0	10,00
直 旅費		500, 000	505, 000	500, 000	0	,	505,		0 \$\Delta\$ 5,000		▲ 5,00
経入件質・謝金		2, 000, 000	2, 000, 000	2, 000, 000	0		2, 000,		0 0	0	
費 その他 合計		1,000,000	1, 005, 000	1, 000, 000 4, 000, 000	0		1, 005, 4, 000,		0 \$ 5,000	0	▲ 5,00
間接経費		4, 000, 000 1, 200, 000	4, 000, 000 1, 200, 000	1, 200, 000	0	1, 200, 000	1, 200,		0 0	0	
委託費		1, 000, 000			0		1, 000,		0 0		

	の一部を第三者に				令和6年度				(課題管理番号)	24xx88888	388j <mark>0002</mark>
委託する経費。	-	補助対象経費	補助対象実績	計画額	執行残額 (前年度分)	執行可能額	補助対象実績×補	助率 自己充当額		差引額	
	分けて計上してくだ	6, 200, 000		6, 200, 000	(削平度分)	6, 200, 000		0	0 6, 200, 000	うち返還額 0	うち執行残額 6,200,00
物品費		500,000	0	500,000	10,000	510,000		0	0 510,000		510, 00
直旅費		500, 000		500, 000	▲ 5,000	495, 000		0	0 495,000		495, 00
接人件費・謝金		2, 000, 000		2, 000, 000	0	2, 000, 000		0	0 2,000,000	0	2, 000, 00
費 その他		1, 000, 000		1, 000, 000	▲ 5,000	995, 000		0	0 995,000	0	995, 00
合計		4, 000, 000	0	4, 000, 000	0	4, 000, 000		0	0 4,000,000	0	4, 000, 00
間接経費 委託費		1, 200, 000	0	1, 200, 000	0	-,,		0	0 1, 200, 000		1, 200, 00
2× 11-32		1, 000, 000		1, 000, 000	0	1, 000, 000		0	0 1, 000, 000	0	1, 000, 00
					令和7年度	-			(課題管理番号)	25xx8888	388j0003
	_	補助対象経費	補助対象実績	計画額	執行残額	執行可能額	補助対象実績×補	助率 自己充当額		差引額	
			mp// が天順		(前年度分)		mのハポギス限<開			うち返還額	うち執行残額
総額		6, 200, 000	0	6, 200, 000	6, 200, 000			0	0 12, 400, 000		12, 400, 00
物品費直整費		500,000		500, 000	510,000	1, 010, 000		0	0 1, 010, 000	0	1, 010, 00
接上供费。對今		500, 000 2, 000, 000		500, 000 2, 000, 000	495, 000 2, 000, 000	995, 000 4, 000, 000		0	0 995,000 0 4,000,000	0	995, 00 4, 000, 00
経費をの他		1, 000, 000		1, 000, 000	995, 000	1, 995, 000		0	0 1, 995, 000	0	1, 995, 00
合計		4, 000, 000	0	4, 000, 000	4, 000, 000	8, 000, 000		0	0 8,000,000	0	8, 000, 00
間接経費		1, 200, 000	0	1, 200, 000	1, 200, 000	2, 400, 000		0	0 2, 400, 000	0	2, 400, 00
委託費		1,000,000		1, 000, 000	1,000,000	2, 000, 000		ol	0 2,000,000	0	2,000,00

目次△┃◀◀

○○+2 年度(例.令和8年度)~○○+4年度(例.令和10年度)

- 14 -

現の明み物間の人でのたちの「特別共会的	o side .				研究關參詢 問	間の全ての年度の「認	型類等研 系 早 1			
一研究開発期間の全ての年度の「補助対象組 を記載してください。	eg .			令和8年度	を記載してく	乳の主での千度の「g ください。	水溶合性田 7 】	(課題管理番号)	26xx88888	88j <mark>0004</mark>
	補助対象経費	補助対象実績	計画額	執行残額	執行可能額	補助対象経費×補助率	自己充当額		差引額	
	冊切別豕桩貝	冊別刈豕天順	可凹钡	(前年度分)	形们 引配領	州奶刈家柱其个州奶牛	日口儿ヨ俄		うち返還額	うち執行残額
総額	6, 200, 000	0	6, 200, 000	12, 400, 000	18, 600, 000	0	0	18, 600, 000	0	18, 600, 000
物品費	500, 000		500,000	1,010,000	1, 510, 000	0	0	1, 510, 000	0	1, 510, 000
旅費	500,000		500,000	995, 000	1, 495, 000	0	0	1, 495, 000	0	1, 495, 000
接人件費・謝金	2,000,000		2, 000, 000	4, 000, 000	6, 000, 000	0	0	6, 000, 000	0	6, 000, 000
費をの他	1,000,000		1, 000, 000	1, 995, 000	2, 995, 000	0	0	2, 995, 000	0	2, 995, 000
合計	4, 000, 000	0	4, 000, 000	8,000,000	12, 000, 000	0	0	12, 000, 000	0	12, 000, 000
間接経費	1, 200, 000	0	1, 200, 000	2, 400, 000	3, 600, 000	0	0	3, 600, 000	0	3, 600, 000
委託費	1,000,000		1, 000, 000	2, 000, 000	3, 000, 000	0	0	3, 000, 000	0	3, 000, 000
			·	令和9年度				(課題管理番号)	27xx88888	88j <mark>0005</mark>
	は中分布欠曲	埃里 基色安建	到,而被	執行残額	共石司化類	 	白コ大火姫		差引額	
	補助対象経費	補助対象実績	計画額	(前年度分)	執行可能額	補助対象実績×補助率	自己充当額		うち返還額	うち執行残額
総額	6, 200, 000	0	6, 200, 000	18, 600, 000	24, 800, 000	0	0	24, 800, 000	0	24, 800, 000
物品費	500, 000		500, 000	1,510,000	2, 010, 000	0	0	2, 010, 000	0	2, 010, 000
旅費	500,000		500,000	1, 495, 000	1, 995, 000	0	0	1, 995, 000	0	1, 995, 000
接人件費・謝金	2,000,000		2, 000, 000	6,000,000	8, 000, 000	0	0	8, 000, 000	0	8, 000, 000
費その他	1,000,000		1,000,000	2, 995, 000	3, 995, 000	0	0	3, 995, 000	0	3, 995, 000
合計	4,000,000	0	4, 000, 000	12,000,000	16, 000, 000	0	0	16, 000, 000	0	16, 000, 000
間接経費	1, 200, 000	0	1, 200, 000	3,600,000	4, 800, 000	0	0	4, 800, 000	0	4, 800, 000
委託費	1,000,000		1, 000, 000	3,000,000	4, 000, 000	0	0	4, 000, 000	0	4, 000, 000
				令和10年度				(課題管理番号)	28xx88888	88j <mark>0006</mark>
	# N A 1. 4. 47	#◇ ←> △ 14 . In 44	#1 mi##	執行残額	+1./	IANI II A da/At . IANI da	カコナルが		差引額	
	補助対象経費	補助対象実績	計画額	(前年度分)	執行可能額	補助対象実績×補助率	自己充当額		うち返還額	うち執行残額
総額	6, 200, 000	0	6, 200, 000	24, 800, 000	31, 000, 000	0	0	31, 000, 000	0	31, 000, 000
物品費	500, 000		500, 000	2, 010, 000	2, 510, 000	0	0	2, 510, 000	0	2, 510, 000
直旅費	500, 000		500, 000	1, 995, 000	2, 495, 000	0	0	2, 495, 000	0	2, 495, 000
接人件費・謝金	2,000,000		2, 000, 000	8, 000, 000	10, 000, 000	0	0	10, 000, 000	0	10, 000, 000
辞 その他	1,000,000		1, 000, 000	3, 995, 000	4, 995, 000	0	0	4, 995, 000	0	4, 995, 000
合計	4,000,000	0	4, 000, 000	16, 000, 000	20, 000, 000	0	0	20, 000, 000	0	20, 000, 000
間接経費	1, 200, 000	0	1, 200, 000	4, 800, 000	6, 000, 000	0	0	6, 000, 000	0	6,000,000
委託費	1,000,000		1, 000, 000	4,000,000	5, 000, 000	0	0	5, 000, 000	0	5, 000, 000

2 – 1. <mark>(委託)</mark>収支簿

収支簿(冒頭)への「前年度執行残額」記載について

- 基金(複数年度)の収支簿は、様式は当機構のホームページ内「事務手続」の「事務処理説明書・様式集」に 掲示している共通版を使用して、事業年度毎に作成してください。
- 2年目以降の収支簿の冒頭(最初の行)に、下記記載例のように 収入欄は空白で、残額欄の計算式を上書きする形で 収支決算書の執行残額(前年度分)の直接経費合計と同じ金額で、前年度執行残額を記載してください。 (前年度執行残額=0の場合も記載してください)

<記載例>

								•									(金額	単位:円)
入出金	検収	拉	#		ıl u	1	+	Ш	43	掘	支	Щ	農質	I	備	:	4	¥.
年月日	年月日	摘	要	v	ųх	\ <u>▼</u>	又	Ш <u>*</u>	残	額	物品費	旅費	人件費・謝金▼	その他	伝票番号▼	支払先▼	その他・	課税区分▼
2023/4/1		前年度執行	残額					0	(852, 605								

■2年目以降の収支簿に関する注意事項

最終行の「計」の残額は、前年度執行残額を含まない"当該年度の収入 – 支出"の残額となっているので、 前年度執行残額を含んだ当該年度の執行残額(収支決算書の執行残額)は、 「計」の直前の行の残額(下記表記例の赤枠)と一致していることを確認してください。

<表記例>

																	(金額	(単位:円)
入出金 検収		₩	#		ılı	1	+		45	松本	支	Ш	費	B	備		±	Ž.
年月日	年月日 💌	摘	要	٧	収		支	支出	残	額▼	物品費	旅費▼	人件費・謝金▼	その他	伝票番号▼	支払先▼	その他・	課税区分▼
2023/4/1		前年度執行	残額					0		852, 605								
2023/6/20		概算払い入	金(10分)		2, 8	32,000		0	3,	684, 605								
2023/9/20		概算払い入	金(2Q分)		2, 8	32,000		0	6,	516, 605								
2023/12/20		概算払い入	金(30分)		2, 8	32,000		0	9,	348, 605								
2024/1/31	2023/12/15	○○装置購	入				1,	000,000	8,	348, 605	1,000,000				物1	甲㈱		
		神田三郎	00打ち	Δ												神田三郎		
2024/1/31		わせ出張(1	2/10)					70,000	8,	278, 605		70,000			旅1	(和二四十)		
2024/1/31		神田三郎()月分				2,	000,000	6,	278,605			2, 000, 000		人1	神田三郎		
2024/2/15	2024/1/15	××外注費					1,	200,000	5,	078, 605				1, 200, 000	71	乙㈱		
2024/2/20		概算払い入	金(40分)		2,8	33, 491		0	7,	912, 096								
	•		計		11, 3	329, 491	4,	270, 000	7,	059, 491	1,000,000	70,000	2,000,000	1, 200, 000				



2 – 2. (補助) 収支簿

収支簿(冒頭)への「前年度執行残額」記載について

- 基金(複数年度)の収支簿は、様式は当機構のホームページ内「事務手続」の「事務処理説明書・様式集」に 掲示している共通版を使用して、事業年度毎に作成してください。
- 2年目以降の収支簿の冒頭(最初の行)に、下記記載例のように 収入欄は空白で、残額欄の計算式を上書きする形で 収支決算書の執行残額(前年度分)の直接経費合計と同じ金額で、前年度執行残額を記載してください。 (前年度執行残額=0の場合も記載してください)

<記載例>

																	(4	2額単位:円)
入出金	検収	拉	Ħ.		ılı	1	±	山	础	姤		事	業 貫		北 北黒		備考	
年月日	年月日	倜	黄	٧	Ц	۸ •	X	Щ 	残	額	物品費	旅費	▼人件費・謝・▼	その他」	委託費 ▼	伝票番号▼	支払先 💌	その他
2024/4/1	前年度執行残額					0		0		0								

■2年目以降の収支簿に関する注意事項

最終行の「計」の残額は、前年度執行残額を含まない"当該年度の収入 – 支出"の残額となっているので、 前年度執行残額を含んだ当該年度の執行残額(収支決算書の執行残額)は、 「計」の直前の行の残額(下記表記例の赤枠)と一致していることを確認してください。

<表記例>

												(4	金額単位:円)
入出金			lit 1	支 出	企 妬		事業	費		4.5年	備考		
年月日	年月日 🔻		収入	支 出	残 額	物品費 ▼	旅費	人件費・謝・	その他	委託費	伝票番号▼	支払先 💌	その他
2024/4/1		前年度執行残額		0	150, 000								
2023/6/20		概算払い入金(10分)	2, 832, 000	0	2, 982, 000								
2023/9/20		概算払い入金(20分)	2, 832, 000	0	5, 814, 000								
2023/12/20		概算払い入金(30分)	2, 832, 000	0	8, 646, 000								
2024/1/31	2023/12/15	○○装置購入		1,000,000	7, 646, 000	1,000,000					物1	甲棋	
2024/1/31		神田三郎 〇〇打ち合わせ出張(12/10)		70,000	7, 576, 000		70,000				旅1	神田三郎	
2024/1/31		神田三郎 〇月分		2, 000, 000	5, 576, 000			2,000,000			人1	神田三郎	
2024/2/15	2024/1/15	××外注費		1, 200, 000	4, 376, 000				1, 200, 000		71	乙㈱	
2024/2/20		概算払い入金(40分)	2, 833, 491	0	7, 209, 491								
		THE COLUMN TWO IN THE COLUMN T	11, 329, 491	4, 270, 000	7, 059, 491	1,000,000	70,000	2,000,000	1, 200, 000	0			
					(事業費計)				4, 270, 000				

(委託) 実績報告

研究期間終了時の実績報告書の「課題管理番号 |記載について

課題管理番号は、全ての年度の課題管理番号(※1)を記載してください。(成果最終報告書も同様) ※1:基本情報シートに入力すれば、他シートで参照

全研究期間の(別紙口)、(別紙八)の添付について

報告期間は全研究期間なので、(別紙口):「その他、研究開発にかかる変更内容の説明」、及び(別紙八): 「取得 資産一覧表」は最終年度分を作成するだけでなく、過去年度の報告済み分(※2)も添付してください。 ※2:シート追加時に過去年度 EXCEL よりシートコピーする際は、「機関名」「課題管理番号」をシート参照から 直接入力へ変更してください。

<記載例>

(報告様式1)

【文書番号・決裁番号】 令和7年5月30日 223fa ●270 ● h0001 233fa 270 h0002 243fa 270 h0003 課題管理番号:

委託研究開発 実績報告書

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 理事長 殿

(契約者)

国立大学法人 日本医療研究開発大学 機関名:

属: 医学研究院長 職: 名: 日本 太郎

(公印省略可)

事業名			ワクチン・新規モダリティ研究開発事業								
プログラム名											
研究開発課題名											
	機関名		国立大学法人 日本医療研究開発大学								
研究開発	所属		研究開発室								
担当者*	役	職	室長								
	氏	名	栄目戸 太郎								
委託期間			令和19年4月15日	~	令和21年3月31日						

^{*}委託研究開発契約書に定義

上記研究開発について、委託研究開発契約書第17条及び第18条の規定に基づき下記の書類を添え て報告します。

記

- 1. 研究開発成果最終報告書(別添:研究開発成果最終報告書参照)
- 研究開発成果最終報告書 (別添:研究開発成果最終報告書参)収支決算書 (基金用) (本様式は別ファイルとなります)その他、研究開発にかかる変更内容の説明 (別紙口) ※過去年度の「別紙口 (Rn年度)」シートも追加してください※事務処理説明書「Ⅲ.1.委託研究開発契約の変更の手続! 抜粋!

「経費等内訳・契約項目シート」【計画様式2】の設備備品費の変更又は追加をしたときは、その変更内容及び変更理由を記載してください。』

4. 取得資産一覧表 (別紙ハ)

(別添)研究開発成果最終報告書(別途、電子媒体で提出)

(注1)本紙に記載する変更は、事務処理説明書「Ⅲ.1.委託研究開発契約の変更の手続」に掲げる軽微な変更を対象としています。このため、委託研究開発の内容の変更や経費の流用制限を超えての増減など、あらかじめ変更承認申請等の必要な手続きを免除又は代替するものではないので注意して ください。

(注 2) 3.及び4.に記載する物品等は、取得価額50万円以上を対象としてください。



(補助) 実績報告書

研究期間終了時の実績報告書の「課題管理番号」記載について

課題管理番号は、全ての年度の課題管理番号(※1)を記載してください。(成果最終報告書も同様) ※1:基本情報シートに入力すれば、他シートで参照

|全研究期間の【報告様式1-2](R6 年度様式)の添付について

報告期間は全研究期間なので、【報告様式1-2】:「その他、補助事業に係る変更内容の説明」(R6年度 様式)は、最終年度分を作成するだけでなく、過去年度の報告済み分(※2)も添付してください。 ※2:シート追加時に過去年度 EXCEL よりシートコピーする際は、「機関名」「課題管理番号」をシート参照から 直接入力へ変更してください。

<記載例>赤字の基金補助金名は SCARDA 課題の場合

【様式8】 【文書番号・決裁番号】 令和7年5月30日 223fa ◆270 ◆ j ◆ 01 233fa ◆270 ◆ j ◆ 02 243fa ◆270 ◆ j ◆ 03 課題管理番号: 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 理事長 殿 (研究者)

住 所: (研究者個人)

機関名: ●研究所

大学院 医学研究院長 日本 太郎 役 職:

氏 名·

(公印省略可)

革新的研究開発推進基金補助金

補助事業実績報告書

令和●年●月●日≪文書番号≫で交付決定のありました令和●年度革新的研究開発推進基金補助金 補助事業は、令和×年×月×日をもって完了しましたので、<mark>革新的研究開発推進基金補助金</mark> 取扱要領第16条第1項及び第18条第1項の規定により、下記のとおり報告します。

記

1. 基本情報

事業名			ワクチン・新規モダリティ研究開発事業									
プログ	ラム	名										
補助事業課題名			課題名を入力してださい									
	機関	月名	●●研究所									
補助事業	所	属	研究開発室									
代表者	役	職	室長									
	氏	名	栄目戸 太郎									
実施期間			$20xx/x/x$ \sim $20yy/y/y$									

- 5. その他
- ①補助事業成果最終報告書【様式8別添】
- ②収支決算書【基金用】 (注1) (本様式は別ファイルとなります)
- ③その他、補助事業に係る変更内容の説明【報告様式1-2】 (注2)

※過去年度の「報告様式1-2(Rn年度)」シートも追加してください。

④取得財産等管理明細表(令和6年度)【様式16】(注3)

*****Memo*****